

市長候補

木下やすし

きのした

木下やすこ選挙事務所(調布市仙川町1-15-30 1F tel:080-2453-8293)

調布責任者: 庄司 進 (東京都調布市多摩 7-24-25)

印刷者: 合同会社新しい箱 (東京都渋谷区道玄坂 1-10-8 渋谷道玄坂東急ビル 2F-C)



写真はママ友が撮影

無所属

前調布市議会議員

調布初の女性市長

として市民の命と暮らしを支えます

留保地開発^{関連}費の8億円 の使い方を見直します!

調布基地跡地の開発計画は、**進め方・緑地保全・市民利用割合・市民の財政負担**などに多くの課題があります。市民参加のプロセスを踏み直し、2026年度の関連経費8億円は**命と暮らしを守る施策**に充当します!

●現場を支える専門職の待遇改善

保育・介護・バスの運転・下水道事業等に携わる職員の確保で市民生活を下支えします。

●学校のトイレ改修

臭い・汚い・暗い・怖い4Kのトイレを快適に!

●雨でも真夏でも遊べる施設拡充

児童館など屋根のある遊び場の開所日拡充で、子どもの「遊びたい」を応援します

●体育館の断熱改修で避難所整備

現在ほとんどの体育館は断熱なし。真夏・真冬の避難所生活に備えます。

【木下やすこ】プロフィール

1973年、神戸市生まれ。神戸女学院中高部、神戸女学院大学文学部卒、イギリスの大学院で学ぶ。阪神淡路大震災で被災▼2002年結婚を機に調布在住。私立学校で非常勤講師をしながら、調布市教育プラン策定検討委員会の市民委員としてまちづくりに関わる▼ママ友達と2015年安保関連法に反対するママの会@調布を立ち上げる▼2019年6月から生活者ネットワーク所属の調布市議会議員(2期)

証紙

木下やすこ

6つのまちづくり

対話の市政で、みなさんとともに…つながる調布へ



1 声にする、カタチになる

- 情報共有と対話で市民の声が届くまちづくり
- ※調布基地跡地留保地計画は財政負担軽減と自然保護の観点で見直し
- 子ども会議や若者会議で子ども・若者の声を活かす
- オンライン傍聴導入で決定プロセスを透明化



2 子どもの笑顔が育つまち

- 子どもは権利の主体！子どもの権利条例をつくる
- 常設のプレーパークで遊びと育ちを応援
- 校舎の断熱化、トイレ改修を計画的にすすめる
- 「働く」と「育てる」の両立を支える



3 SOSが届くまち

- ヤングケアラーから老老介護まで家族をケアする人を支援
- 障害があってもともに育ち、学び、暮らす
- 生きづらさを抱える若者や高齢者、中高年女性に寄り添い、暮らしを支える



4 ぐらしに安心、まちに元気を

- 年金生活の高齢者への経済支援を拡充
- 市内事業者・個人商店の事業継続を支援
- 大災害や人口減少を見据えた財政基盤強化
- バス運転手の処遇改善でバスを増便
- まちなかベンチと公共トイレで歩いて楽しいまちへ



5 ぜんぶ大事。命・環境・平和

- 熱中症・温暖化対策で命を守る
- 調布の豊かな自然を保全し、緑を育てる
- PFAS、受動喫煙、香害から健康を守る
- 平和学習を充実。平和への想いを継承する



6 つながりが防災力

- 新しい地域のつながりを創出。だれも取り残さない避難支援へ
- 子ども、女性、高齢者、LGBTQにやさしい避難所の環境整備
- 断熱改修とソーラーパネル・蓄電池整備で、避難所のインフラ整備推進

市議会議員2期で実現させたこと

- 調布市街路樹管理計画
- 1年生の交通安全帽をメッシュ地へ改善
- 市役所の自販機からペットボトルを廃止
- 給水機の設定
- 公共施設の自然エネルギー電力使用推進
- 保育の質ガイドラインの制定
- ヤングケアラー支援策の展開
- ケアラーサポートブックの実現
- 不登校児と保護者への支援（教育支援センター設置、別室登校の教室整備推進）
- PFAS調査と香害の周知啓発
- 自衛隊募集の除外申請を導入

